

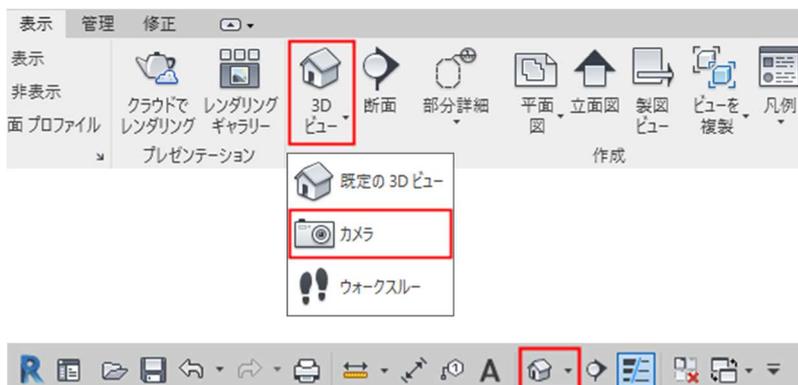
## 5. プレゼンテーション資料の作成

### 5.1. パースビューの作成

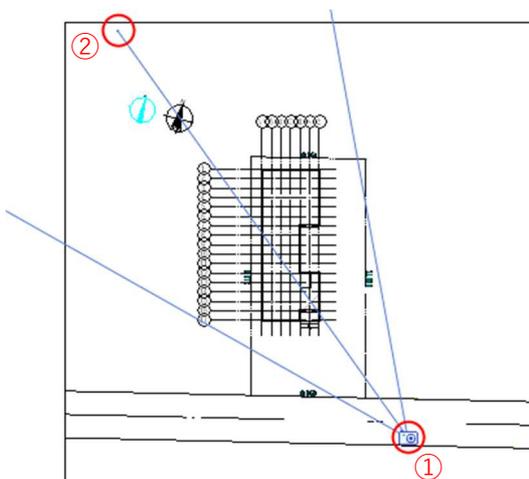
#### 5.1.1. カメラを設定します

プロジェクトブラウザ[**建築/平面図/配置図**]ビューに切り替える  
**[表示]タブ-[3D ビュー]**パネル**[カメラ]**をクリック

※**[クイックアクセスツール]-[規定の 3D ビュー]**タブ**[カメラ]**をクリックしても同じ



右図の位置で①②の順にクリックする  
 ①はカメラの視点、②はカメラの注視点となり①から②を見るような形でビューが作成される



3D ビューが作成されました

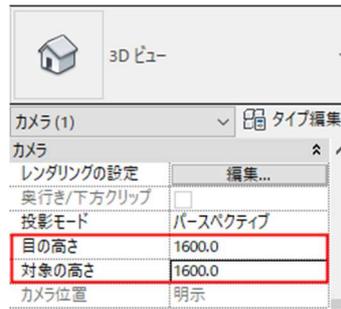


プロジェクトブラウザ[**建築/3D ビュー**]に**[3D ビュー-1]**が追加されていることを確認  
 ビュー名をクリックして「**南東**」に変更

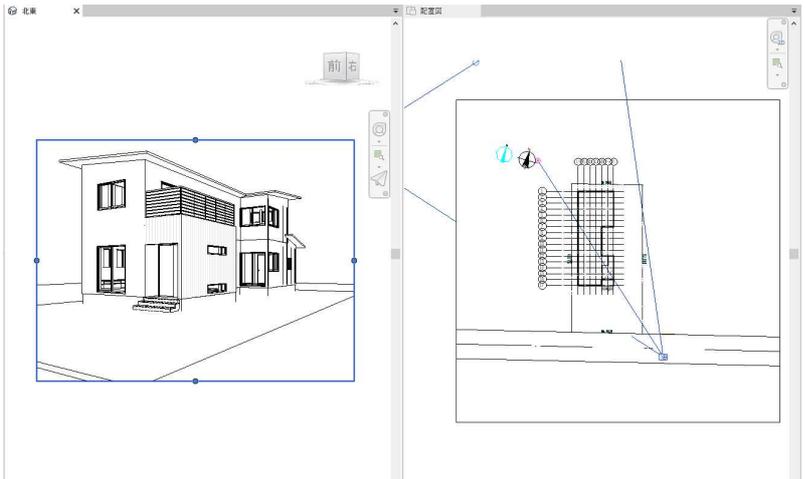


第三者へのトレーニングのため、このドキュメントを無断転載、複製、配布することは禁止されています

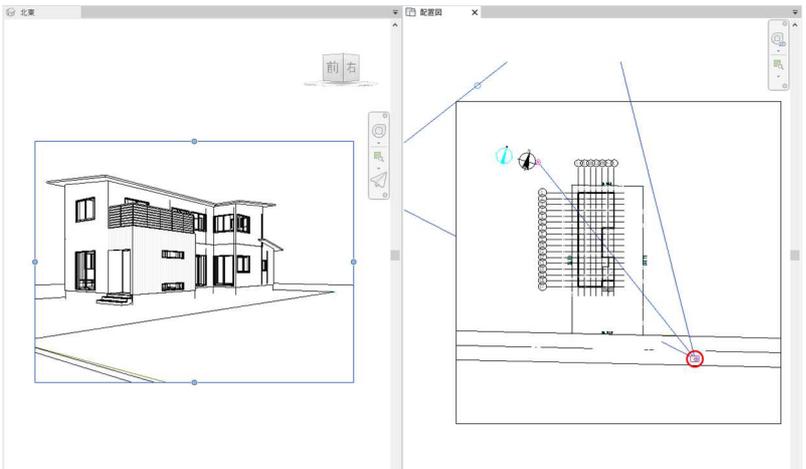
プロパティパレットから「カメラ」の「目の高さ」「対象の高さ」にどちらも「1600」と入力



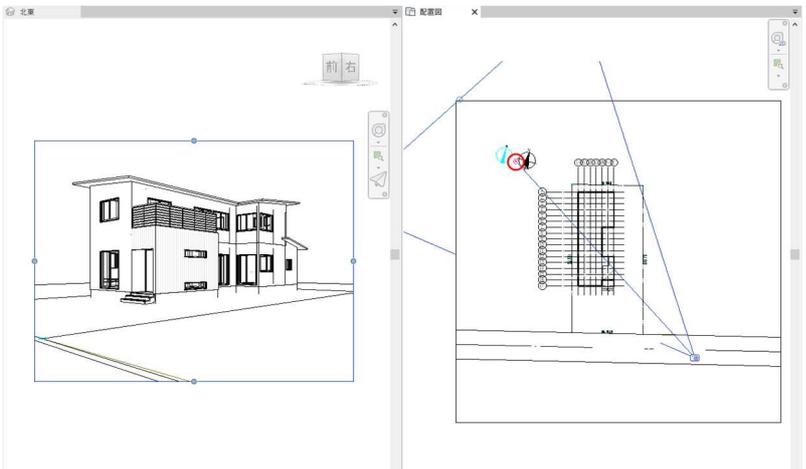
カメラの角度を調整する  
 「北東」ビューでカメラのトリミング枠をクリック  
 「配置図」ビューにカメラが表示される  
 (プロジェクトブラウザで「北東」ビューを右クリックし「カメラを表示」を選択してもカメラが表示される)



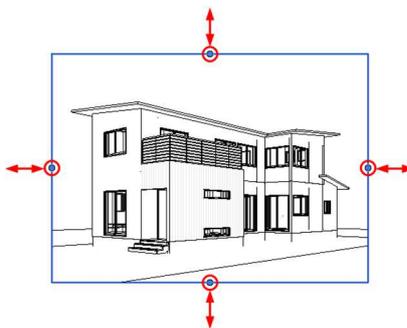
「配置図」ビューに表示されたカメラをドラッグし視点を移動



右図のポイントをドラッグして角度を調整



トリミング枠の「コントロール」ポイントをドラッグし建物の表示位置、ビューの形状を整える

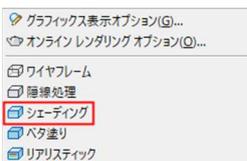
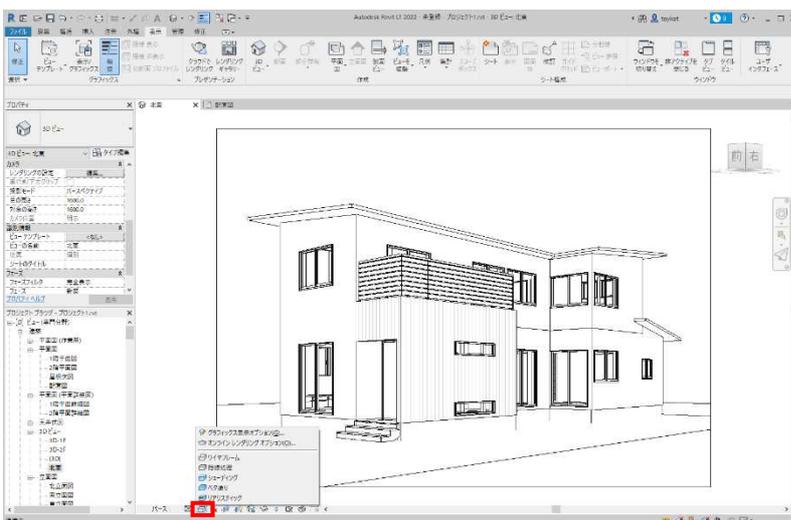


出力サイズを設定する  
 [修正/カメラ]タブ-[トリミング]パネル-[トリミングサイズ]を選択  
 「トリミング領域のサイズ」ダイアログが表示されるので「スケール(比率を固定)」にチェックを入れ任意のトリミングサイズを入力



5.1.2. グラフィックス表示オプションの設定をします

ビューコントロールバー[表示スタイル]-[グラフィック表示オプション]-[シェーディング]を選択



ビューがカラー表示になったことを確認



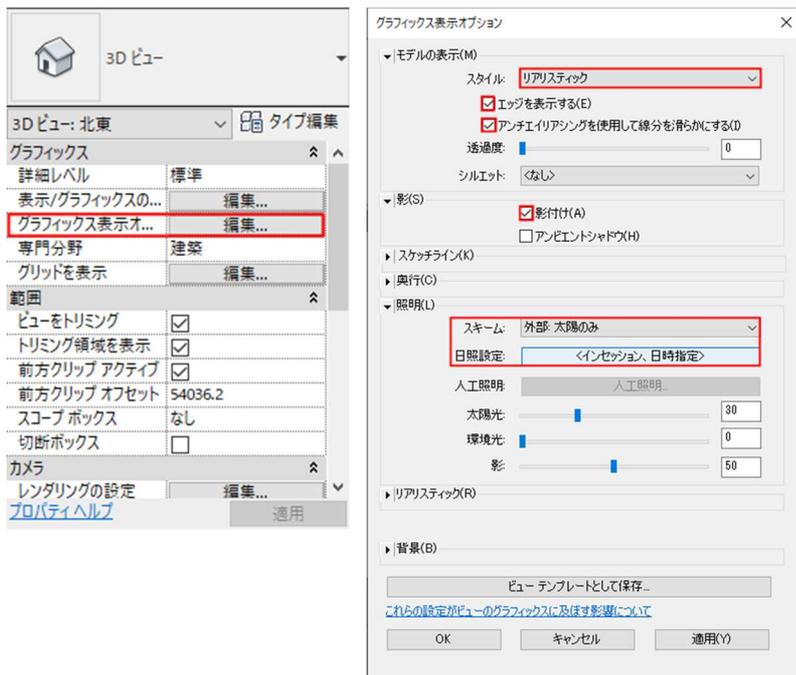
より詳細な 3D ビューの設定をします

プロパティパレット「グラフィック表示オプション」の「編集」をクリック

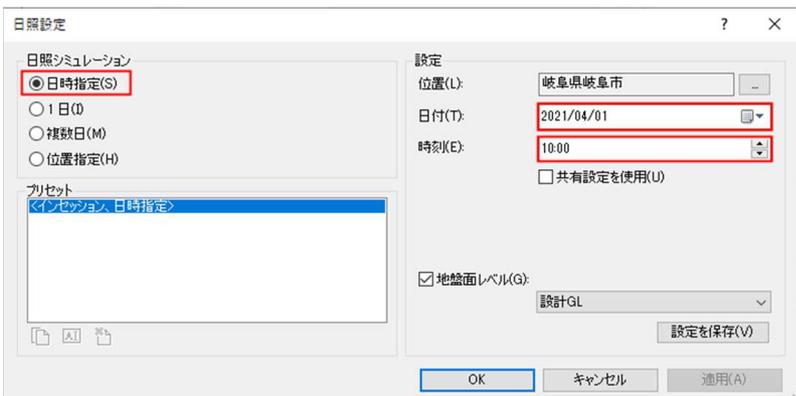
「グラフィック表示オプション」ダイアログが表示される

「モデルの表示」で「スタイル」を「シェーディング」から「リアリスティック」に変更し、その他詳細は右図のように設定

「日照設定」〈インセッション、日時指定〉をクリック



日照設定ダイアログで右図のように入力



右図のような 3D ビューが表示されます



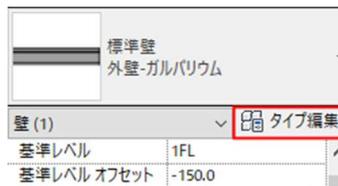
## 5.2. マテリアル(素材)の設定

### 5.2.1. 既存マテリアルを修正する

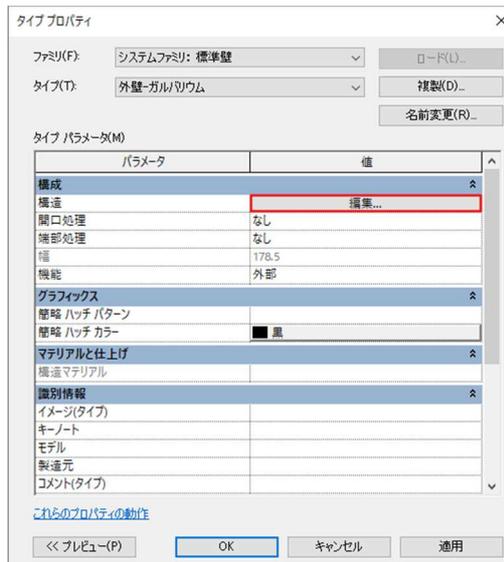
3D ビューで右図の外壁を選択



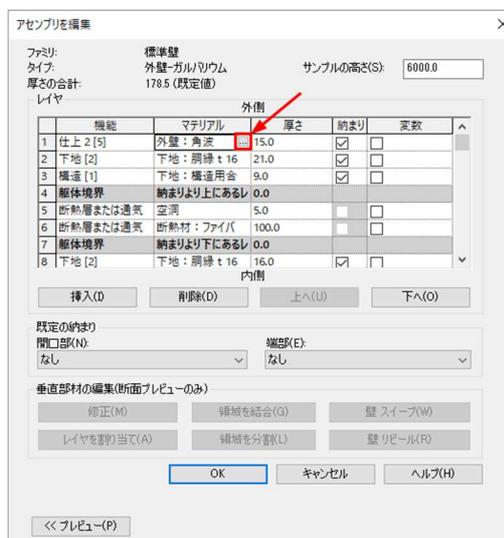
プロパティパレット「**タイプ編集**」をクリック



[**タイププロパティ**]ダイアログ-  
「**構造**」の「**編集**」をクリック



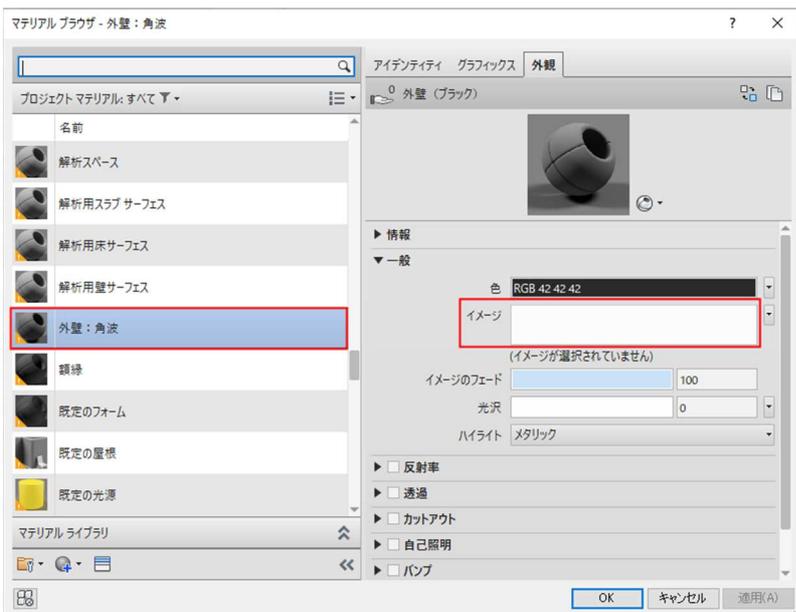
[**アセンブリを編集**]ダイアログ-  
「**仕上 2(5)**」のマテリアル「**外壁：角波**」の横にあるボタンをクリック



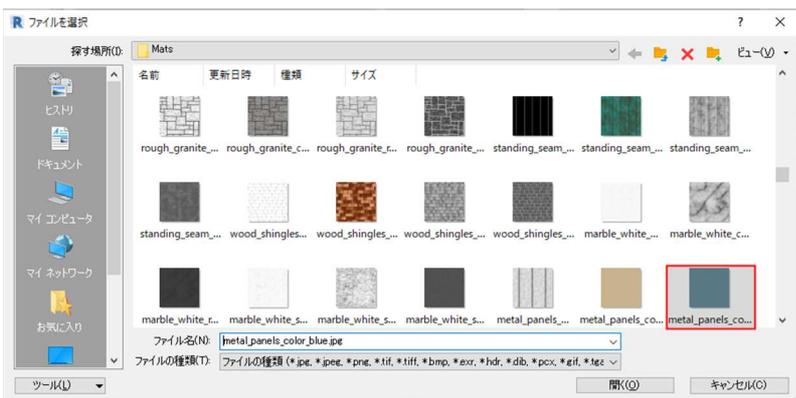
第三者へのトレーニングのため、このドキュメントを無断転載、複製、配布することは禁止されています

[マテリアルブラウザ]が開き「外壁：角波」が選択されている

[外観]タブ[一般]の「イメージ」をクリック



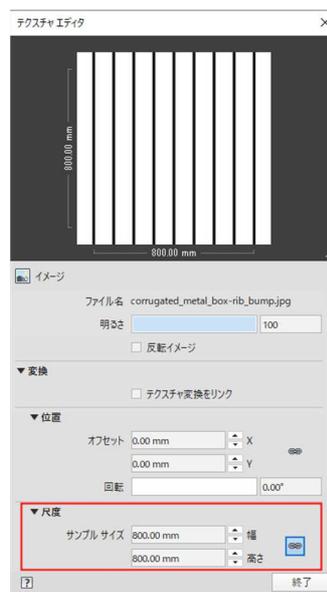
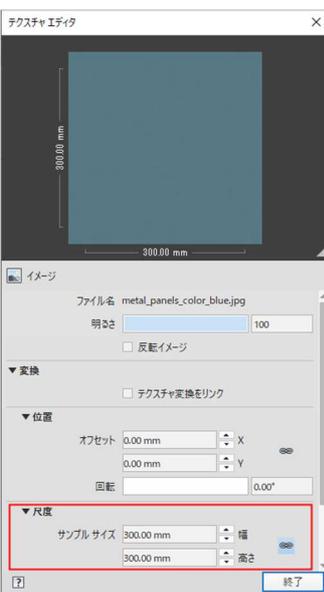
ダウンロード済みのオートデスク提供ファイルから任意のファイルを選択



[ファイル名]  
metal\_panels\_color\_blue.jpg  
[尺度]幅 300、高さ 300

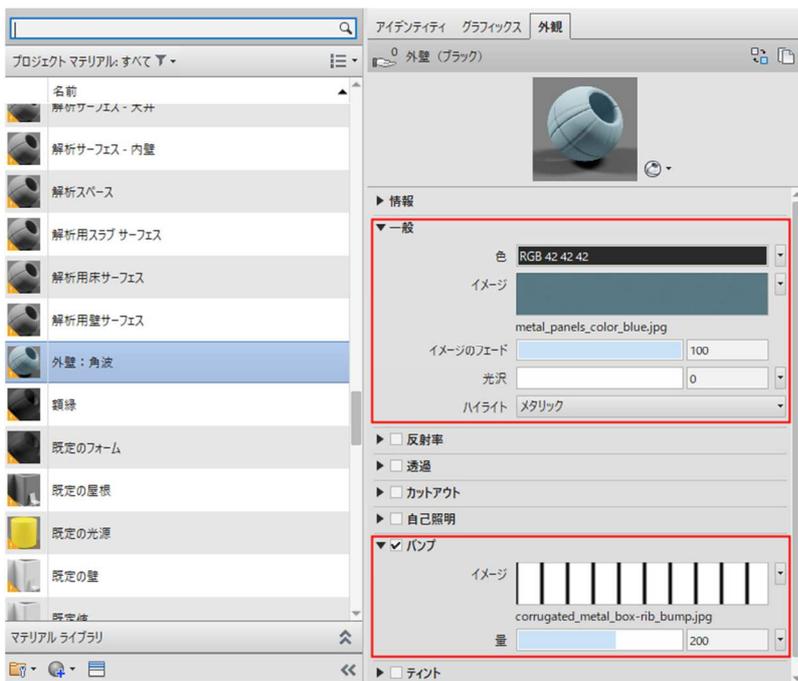
[外観]タブ[バンプ]にチェック  
「イメージ」をクリックし任意のファイルを選択

[ファイル名]  
corrugated\_metal\_box-rib\_bump.jpg  
[尺度]幅 800、高さ 800



第三者へのトレーニングのため、このドキュメントを無断転載、複製、配布することは禁止されています

その他右図のように設定



右図のように 3D ビューが変更されました

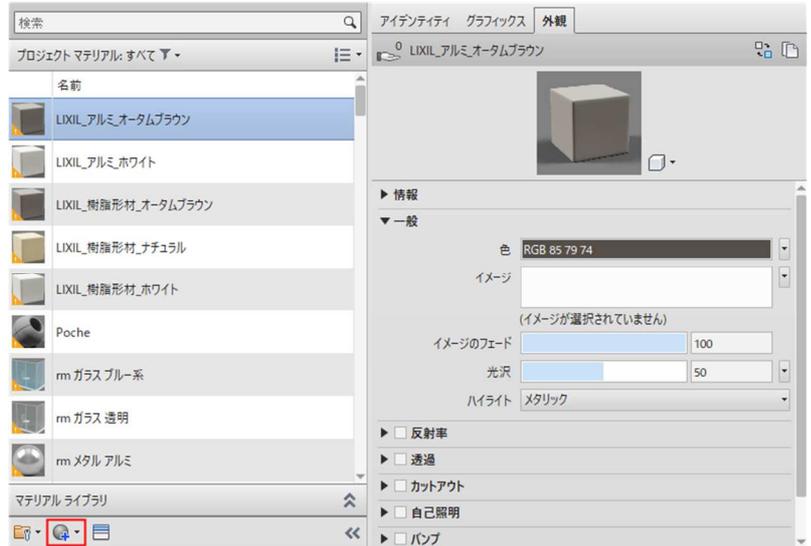


5.2.2. 新規材料を作成する

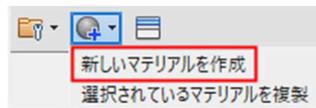
[管理]タブ-[設定]パネル-[マテリアル]を選択



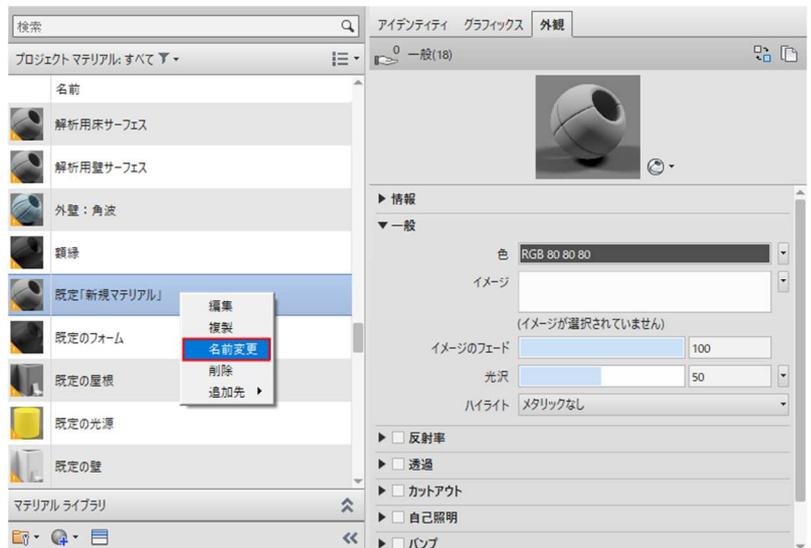
[マテリアルブラウザ]ダイアログが表示される



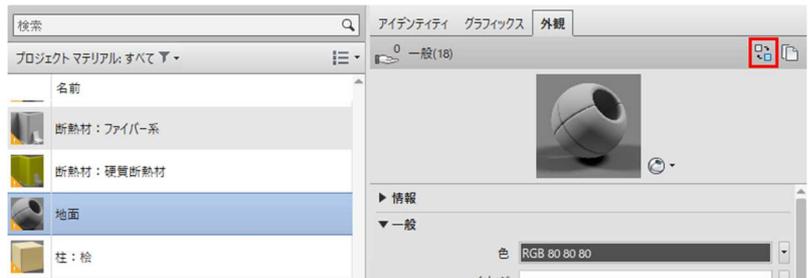
[マテリアルライブラリ]-「マテリアルを作成または複製します」-「新しい材料を作成」を選択



既定「新規材料」をいう材料が新たに作成されたことを確認  
作成された材料の上で右クリックし「名前変更」を選択  
「地面」と入力



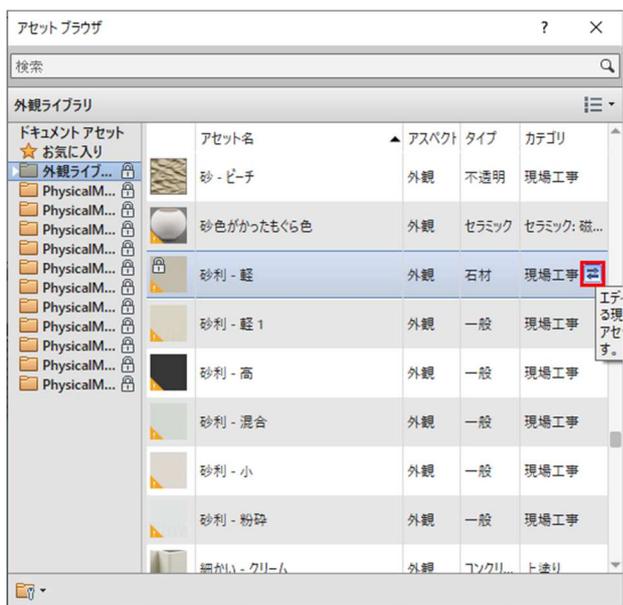
[外観]タブ右上の「このアセットを置きかえます」ボタンをクリック



第三者へのトレーニングのため、このドキュメントを無断転載、複製、配布することは禁止されています

[アセットブラウザ]ダイアログが開くので[ドキュメントアセット]-[外観ライブラリ]からアセット「砂利-軽」を選択し右端のボタンをクリック

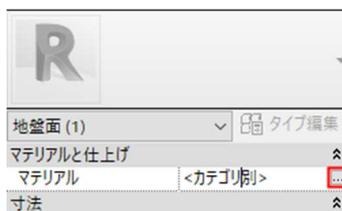
[マテリアルブラウザ]に戻り OK をクリック



3D ビューで「地盤面：サーフェス」を選択



[プロパティパレット]-[マテリアルと仕上げ]-[マテリアル]の〈カテゴリ別〉右のボタンをクリック



[マテリアルブラウザ]が開くので先ほど作成した「地面」を選択、OK

サーフェスにマテリアルが設定されました



### 5.3. クラウドレンダリング (Autodesk 360 Rendering サービス を使ったレンダリング)

5.3.1. Autodesk アカウントを作成  
※アカウント作成方法については下  
記のサイトでご確認ください  
<https://accounts.autodesk.com/>

5.3.2. プロジェクトブラウザ[建築/3D ビ  
ュー/南東]ビューを選択  
[表示]タブ-[プレゼンテーション]パ  
ネル-[クラウドでレンダリング]を  
クリック



[Cloud でレンダリング]ダイアログ  
の概要説明が表示されるので「続行」  
をクリック



[Cloud でレンダリング]ダイアログ  
の設定が表示されるので初期設定の  
まま

「3D ビュー」は「南東」  
「出力タイプ」は「静止イメージ」  
「レンダリング品質」は「標準」  
「イメージサイズ」は「中(1メガピク  
セル)」  
「露出」は「アドバンスド」  
をそれぞれ選択  
「完了したら私に電子メールで通知  
する」にチェックを入れ「レンダリン  
グ」をクリック



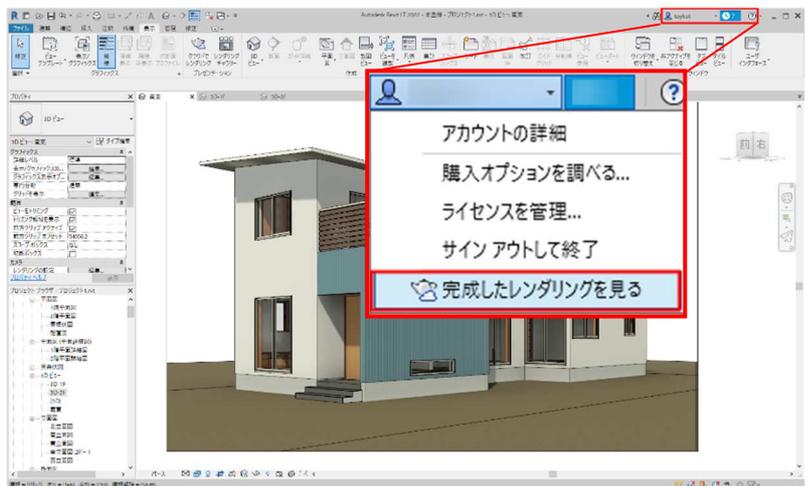
第三者へのトレーニングのため、このドキュメントを無断転載、複製、配布することは禁止されています

※クラウドレンダリングのオプション設定は右記参照

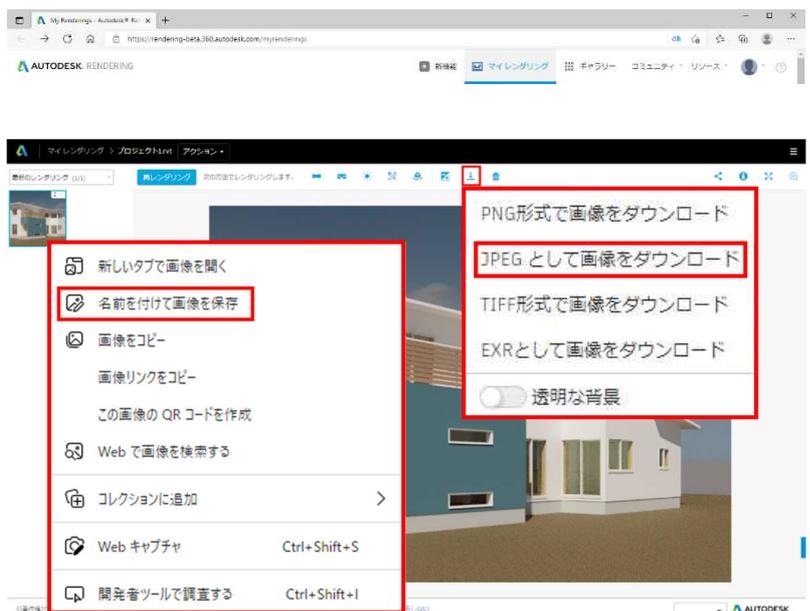
レンダリングする画像の大きさ、品質等に合わせてそれぞれ設定可能  
ただし設定内容によって「クラウドクレジット」が必要となる  
(クラウドクレジットについては販売店またはオートデスク社にお問い合わせください)

設定	説明
3D ビュー	レンダリングするビュー
出力タイプ	「静止イメージ」: 静止画像を作成 「パノラマ」: 360度の画像を作成 「ステレオパノラマ」: バーチャルリアリティゴーグル用の画像を作成
レンダリング品質	「標準」「最高」の選択が可能
イメージサイズ	レンダリング結果のイメージサイズ A4 サイズ出力では「大」、A3 サイズ出力は「最大」が画質限界サイズ
露出	初期設定の正しい光源状態をシミュレートする場合は「アドバンスド」、Revit の露出コントロール設定を使用する場合は「ネイティブ」

レンダリングが完了すると、  
[Autodesk Account]に「**完成したレンダリングを見る**」という項目が表示  
「**完成したレンダリングを見る**」をクリック



Web ブラウザに Autodesk360 のページが表示  
レンダリングギャラリーが表示されるのでレンダリングしたプロジェクトのサムネイルをクリック



レンダリングした画像のサムネイルをクリック  
ツールバーの[ダウンロード]をクリックし「**JPEG として画像をダウンロード**」をクリック、もしくは画像の上で右クリック-「**名前を付けて画像を保存**」

第三者へのトレーニングのため、このドキュメントを無断転載、複製、配布することは禁止されています

5.3.3. 内観パースを作成しパノラマレンダリングを実行します

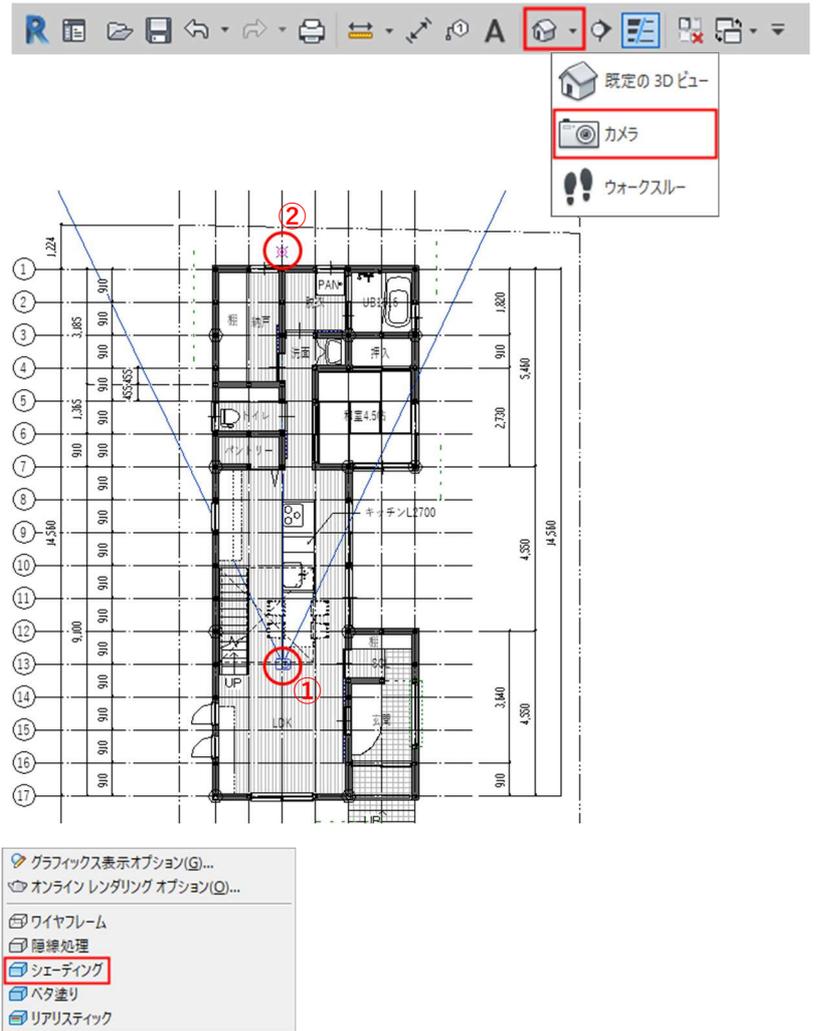
プロジェクトブラウザ[建築/平面図/1階平面図]ビューに切り替える

[クイックアクセスツール]-[規定の3Dビュー]タブ-[カメラ]をクリック

右図の位置で①②の順にクリックする

[プロパティパレット]-[カメラ]-[目の高さ]「対象の高さ」にどちらも「1600」と入力

ビューコントロールバー[表示スタイル]-[グラフィック表示オプション]-[シェーディング]を選択



右のような内観ビューが作成されました



プロジェクトブラウザ[建築/3D ビュー]に[3D ビュー-1]が追加されていることを確認  
ビュー名をクリックして「パノラマ-LDK」に変更



[表示]タブ-[プレゼンテーション]パネル-[クラウドでレンダリング]をクリック



[Cloud でレンダリング]ダイアログの概要説明が表示されるので「続行」をクリック

[Cloud でレンダリング]ダイアログの設定が表示されるので初期設定のまま



「3D ビュー」は「パノラマ-LDK」

「出力タイプ」は「パノラマ」

「レンダリング品質」は「標準」

「露出」は「アドバンスド」

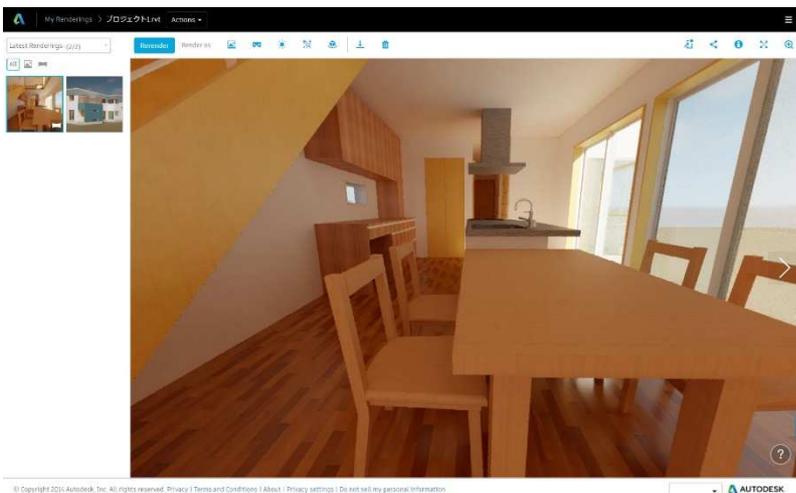
「幅」は「1024 ピクセル」

をそれぞれ選択し「レンダリング」をクリック

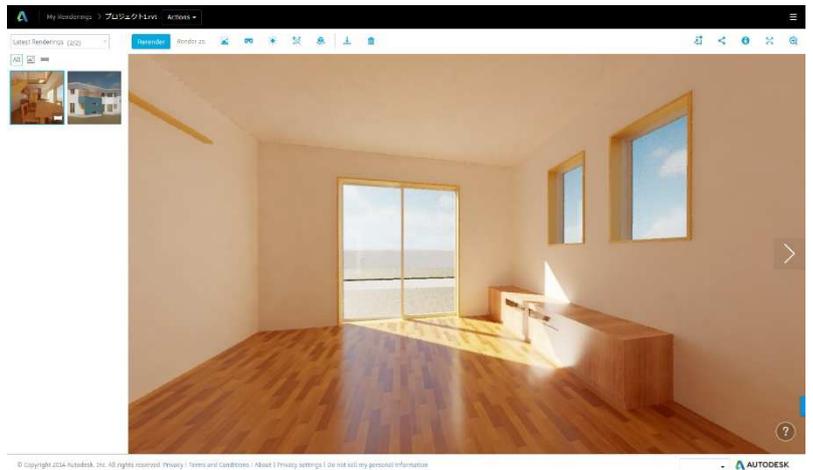
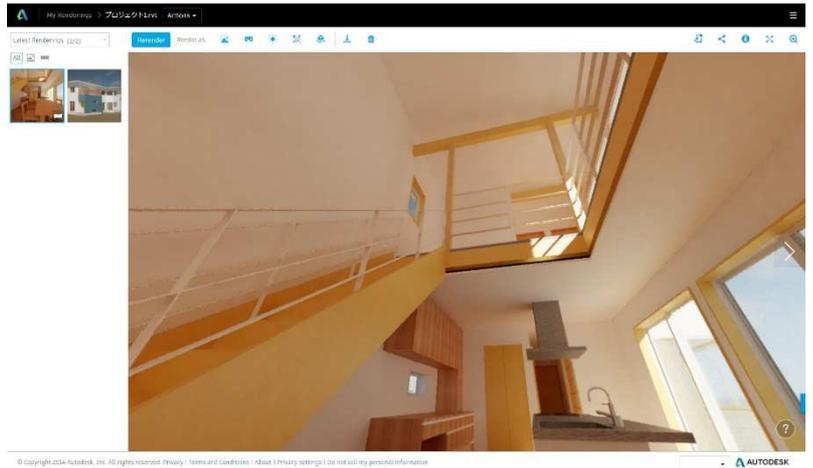
レンダリングが完成したら

[Autodesk Account]で「完成したレンダリングを見る」をクリック

Web ブラウザのレンダリングギャラリーからレンダリングした画像を選択



画像をドラッグして室内を 360 度  
見渡すことができる



レンダリング画像はリンク先の  
URL を共有することで他の機器で  
も閲覧することができます  
[ツールバー]-[Open rendering on  
phone]-「パブリックリンクを介し  
て共有」を選択

ジャイロ機能を搭載したタブレット  
やスマートフォンでは、実際に上下  
左右に機器を動かすことで 360 度  
のイメージを確認することもできま  
す

